

当面の懸案事項と今後の進め方

当面の懸案事項と今後の進め方

○休憩岸壁の適正利用

→資材積込等の出漁準備を行う場所として、岸壁及びその背後地を適正に利用するためのルールづくりを行う。

○水産物への危害混入対策

→影響が心配されている港湾区域からの木屑対策を検討中。
(試験的にネットを設置中)

○セレクトターの利用促進

→利用料金見直し済(10円/kg→8円/kg)※市補助含む

○市場整備中の見学ツアー対策

→見学室の確保とともに、食と観光の連携について検討する。
(1号上屋工事期間中は、2号上屋大会議室を見学ツアーの代替施設とする予定)

漁港、市場、食と観光の各WGを活用し解決策を検討していく。

資機材の開発・導入試験の取組状況

木箱からの危害(異物混入・細菌)

⇒ プラスチック魚箱の導入試験

H27. 11～H28. 5 沖底船にて試験使用

利用者の感想、意見など

卸 : 木箱よりたくさん入る。
箱の管理、洗浄に課題。

仲買①: プラスチックは鮮度に問題あり。

仲買②: 衛生管理のため必要な取組。

生産者: 使いやすかった。船上での選別の際にも重宝した。

いつから切り替えなければならぬかわかれば、切り替える。
使い勝手、耐久性等をもう少し確認したい。



⇒ 今漁期も継続して試験し、検討することとなった。
魚箱の管理、洗浄、返却ルールなどが課題。

木製の選別台からの危害(異物混入・細菌)

⇒ ステンレス選別台の導入試験



H28. 3 ステンレス製の選別台の試作品完成

⇒ 選別台の出口等に改良が必要

H28. 8 選別台改造

⇒ 台の移動も容易で、魚の流れもスムーズ

床面からの危害(細菌)

⇒ 松葉がにのブルーシート売りの改善検討

専用の敷台を導入してももったいない

パレットで代用可能なのではないか などの意見を受け

→パレットを利用することで対応可能

年度末までの予定

床面からの危害(細菌)

⇒ ベニスワイガニの荷さばき工程見直しに必要な資機材の検討

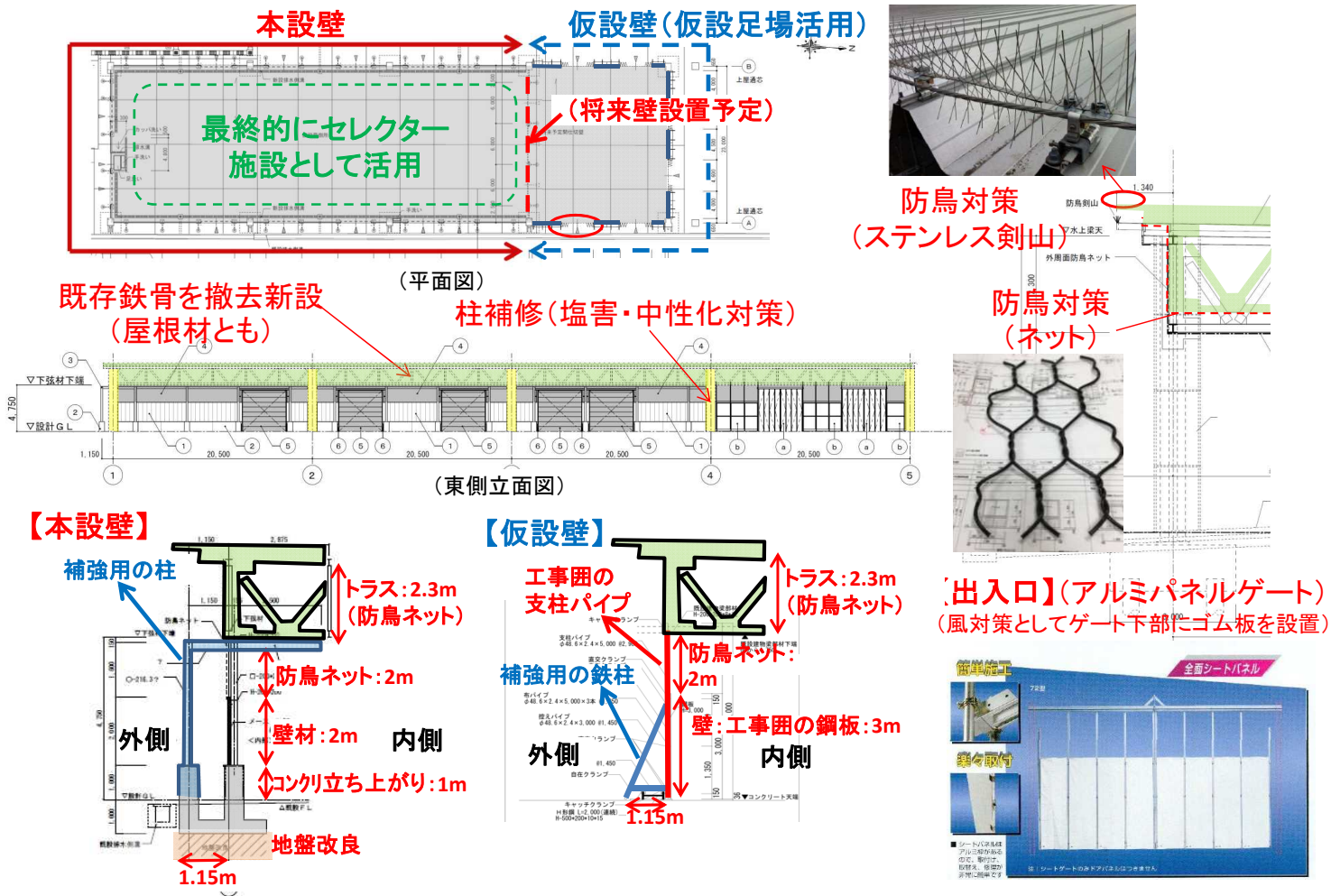
販路拡大への取り組み

⇒ 移動式活魚水槽の導入試験

今後ともよろしく
お願いいたします



3号上屋改修工事の概要



工事期間中の1号代替上屋としての3号上屋の活用

